

家族と医院を守る 保険制度の選び方

～歯科医師国保の魅力をわかりやすく解説～

- Aさん：開業医、年収 1,000 万円
- Bさん：専従者給与 年収360万円
- Cちゃん：7歳・小学生



そんな疑問を持つ先生へ。家族や従業員にとっても有利な制度、それが**歯科医師国保**です。

家族の社会保険料比較（歯科国保型 or 協会けんぽ型）

表①：家族 3 人の保険料自己負担比較(年額)

プラン	A さん負担	B さん負担	C ちゃん負担	合計負担
歯科国保型①	約 55.1 万円	約 23.1 万円	約 16.1 万円	約 94.2 万円
協会けんぽ型②	約 109.4 万円	約 50.5 万円	0 円	約 159.9 万円

※協会けんぽは収入に比例して保険料が上昇（上限高い）する

※歯科医師国保は上限が低く設定され高所得になるほど有利になる

家族と従業員分を併せた事業主の負担

従業員規模別・法人化別の比較（4 プラン）

- A さん開業医、妻（B さん専従者）、子供（C ちゃん）の 3 人
- 従業員：①②は常勤 4 人（月給 30 万円）、③④は常勤 5 人（月給 30 万円）

表:プラン別 年間事業者総負担額比較

プラン	家族の 自己負担	事業者負担 (従業員分含)	税金 (所得・住民)	年間総負担
プラン① 個人事業・歯科国保＋共済 (従業員 4 人・国保)	941,600 円	0 円	2,144,040 円	3,085,640 円
プラン② 任意適用・(A 歯科国保＋共済) (B・C・従業員 4 人： 厚年・けんぽ)	2,481,520 円	1,647,000 円	2,318,220 円	6,446,740 円
プラン③ 法人・全員けんぽ＋厚年（従業員 5 人）	1,599,420 円	4,124,820 円	2,702,645 円	8,426,885 円
プラン④ 法人・適用除外・全員歯科国保＋厚年（従業員 5 人）	1,984,700 円	2,690,100 円	2,606,325 円	7,281,125 円

ポイント

- ・プラン①（個人事業・歯科国保）が最安：年間総負担額：約 309 万円
- ・協会けんぽ型②や法人プラ③④は大幅に負担増
- ・「家族分の国保」だけを見ても歯科国保型は約 94 万円で済み、協会けんぽ型（約 160 万円）よりもかなり割安



歯科医師国保は安心経営に役立ちます



✓ 歯科医師国保のメリット

1. 保険料の上限が低く、収入が高いほど有利
2. 被扶養制度がない代わりに、人数が少なければ総額が安い
3. 制度が安定しており、将来設計しやすい
4. 健康保険適用除外により法人化後も継続可（法人化前の加入が必須）
5. 加入には埼玉県歯科医師会への所属が必要（開業時の加入がおすすめ）
6. 家族と従業主を含めたトータル負担は断然オトク

🔑 結論と推奨メッセージ

※歯科医師国保は、高所得の開業医・家族・従業員にとって理想的な保険制度です。

※法人化後も制度を柔軟に活用でき、将来の年金・退職金も手厚く準備可能。

保険サービスの項目も市町村国保と比して非常に充実しており協会けんぽと比較しても、実際上は遜色ありません。

※開業歯科医師はぜひ早期加入を検討し、制度の恩恵を最大限に活かしましょう。

詳しくは事務局にお気軽にお問い合わせ下さい！

埼玉県歯科医師国民健康保険組合 TEL048-829-2325